整理番号	受付年月日	相談者	相談方法
２－６－２	2017.2.22	匿名	直接

質問内容

“グリーン物流”なる言葉を聞きました。これについて教えて下さい。

回　答

グリーン物流とは端的にいうと**環境にやさしい物流システム**の事です。

共同輸配送、モーダルシフト、低公害車やデジタル式タコグラフの導入、輸配送システムの構築など、さまざまな手法があり、組織運営や人材育成、地域貢献などにおける取り組みも、広い意味のグリーン物流に含まれます。

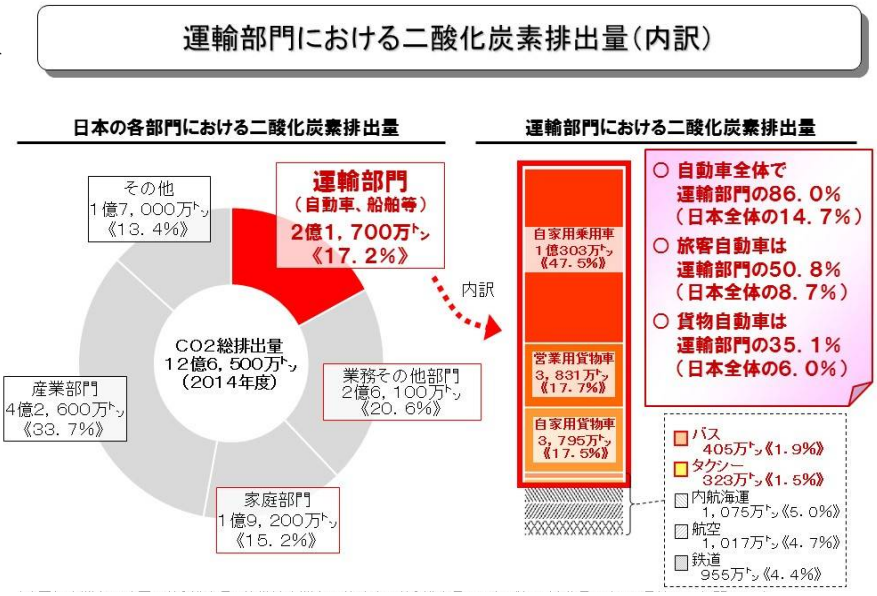
グリーン物流は、企業のコスト削減にもつながるため、取り組む企業が増えており、「**グリーン物流パートナーシップ会議**」という組織があります。これは荷主企業と物流事業者の幅広い連携の促進を図るために2004 年 12 月に発足した組織で、日本ロジスティクスシステム協会、日本物流団体連合会、経済産業省、国土交通省、日本経済団体連合会（オブザーバー）などの協力を得て設立されたもので、2011 年8月現在**3132 の企業・団体**が会員になっています。

日本の二酸化炭素排出量（12 億 6,500 万トン：2014 年度）のうち、**運輸部門からの排出量（2 億 1,700 万トン）は 17.2%**、自動車全体では運輸部門の 86.0%（日本全体の 14.8%）、うち、旅客自動車が運輸部門の 50.8%（日本全体の 8.7%）、残りを営業用、自家用貨物車、飛行機、船舶、鉄道などが占めています。こうした状況を受けて環境負荷の少ない物流システムである「グリーン物流」が注目されている所です。

(図及び参考欄(＊1)URL参照)

物流事業者は事業活動を通じて次のようなグリーン物流のための施策を講じています。

1) 共同輸配送
2) モーダルシフト(*2)
3) 荷主への働きかけ
4) 低公害車の導入
5) (デジタコ＊3)の導入
6) 物流拠点の整理合理化
7) エコ包装
8) 輸配送システムの導入



上記のような諸施策を通じて、運輸業界では業界をあげて地球環境に優しい輸送方法の確率に取り組んでいますが、これには私たち消費者・利用者側の理解や協力が必要不可欠と思えます。

参　考

国土交通省：http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/environment/sosei_environment_tk_000007.html

＊2：モーダルシフト：トラックによる幹線貨物輸送を、大量輸送が可能な海運または鉄道に転換すること。これにより単位重量・距離当たりの二酸化炭素の発生を抑制する。

＊3：デジタコ：自動車に搭載され、運行時間中の走行速度などの変化をグラフ化することでその車両の稼動状況を把握できるようにした計器。貸切バスや特定の路線バスに装着が義務付けられている。